傳神開手

北齋漫畫十三編

全

13

尾張東壁堂藏版画譜畫手本目録

書肆　名古屋本町通七丁目　永樂屋東四郎

北齋漫畫十三編刻成矣
嗚呼富哉其斗翁の筆
十竹齋芥子園の理窟を
脱して人情世態乃洒落一
編ことに其妙を盡し愈
出て〻愈奇なり日裏に寫

山人六樹園式亭の諸先生の序なり余また何をか言む嗚呼富哉戴斗翁の筆

己酉秋窓雨夜秉燭書

山禽外史小笠



葛飾為一老人筆

北斎漫画十三編

書舗　東壁堂梓


右ノ劔龍ハ即チ
左リ之索也ク
倶利伽羅不動



三面大黒天（さんめんだいこくてん）


和氣清麿（わけのきよまろ）





猿樂比部

薩摩守



業平餅


塗附


廟祝
山伏










甲州牛石


同 猪鼻

銚子帆掛岩

相州烏帽子岩

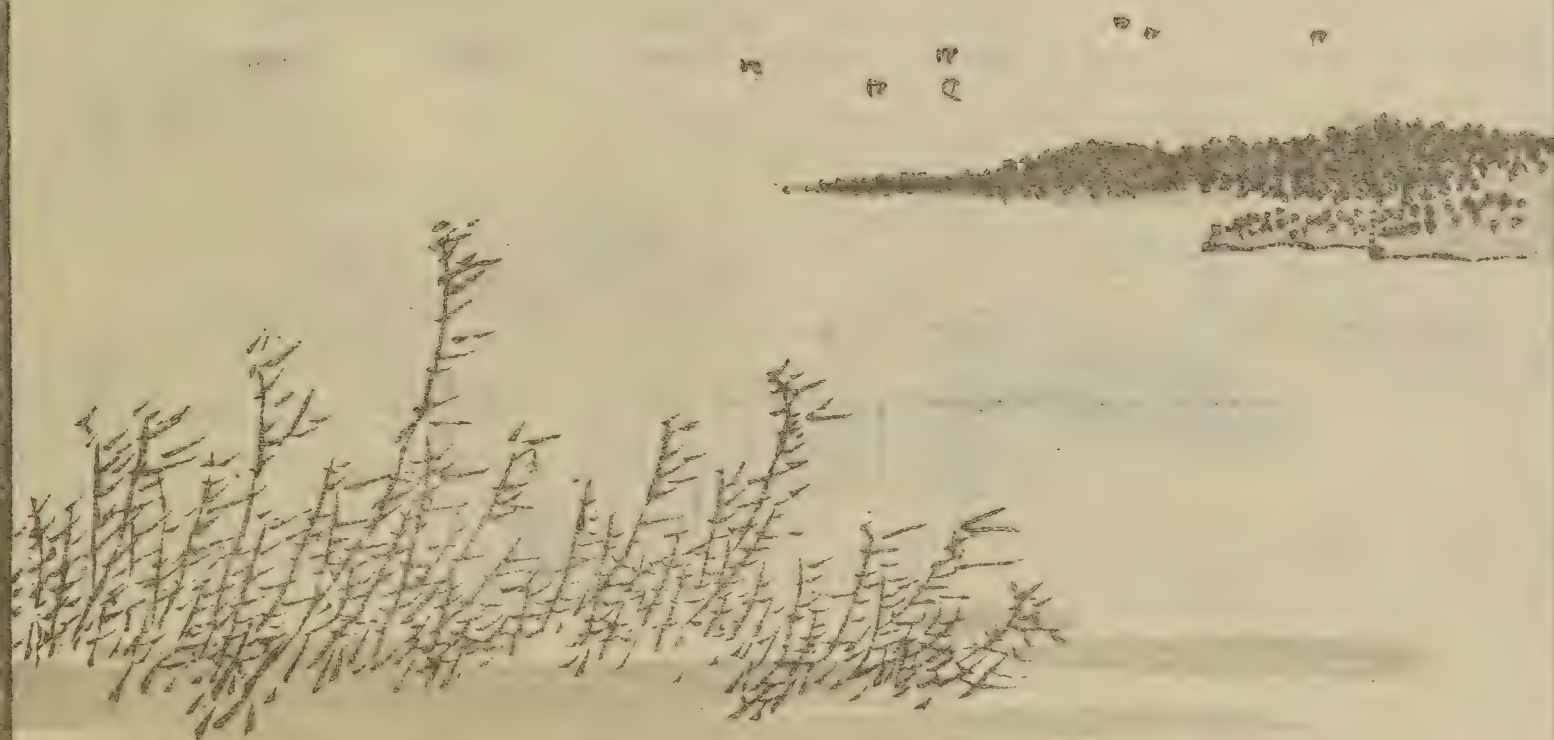



相州森戸


和州三笠山


相州六浦


利根


利根遠帆


甲州鳥澤


筑波遠景

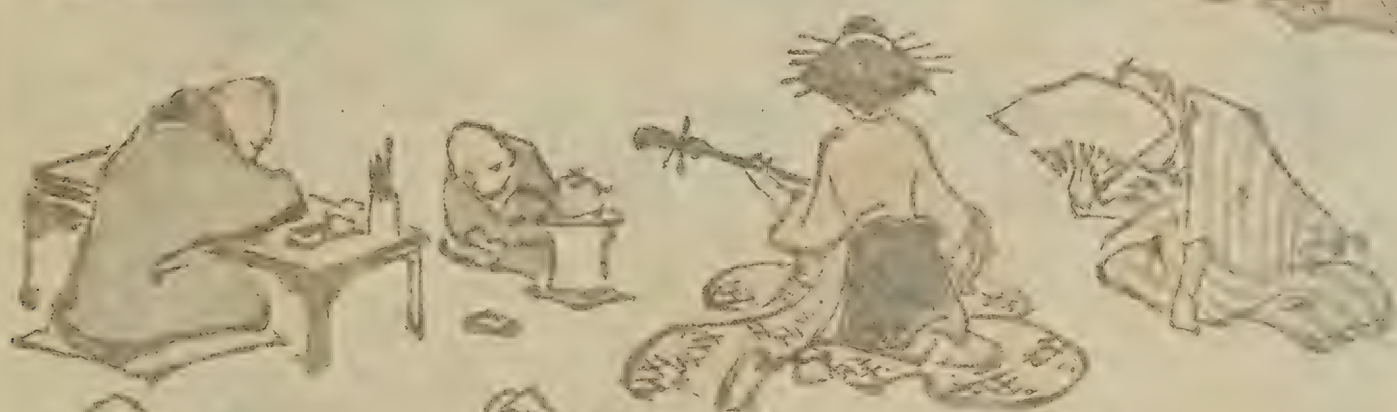

木曽[illegible]


略筆の編



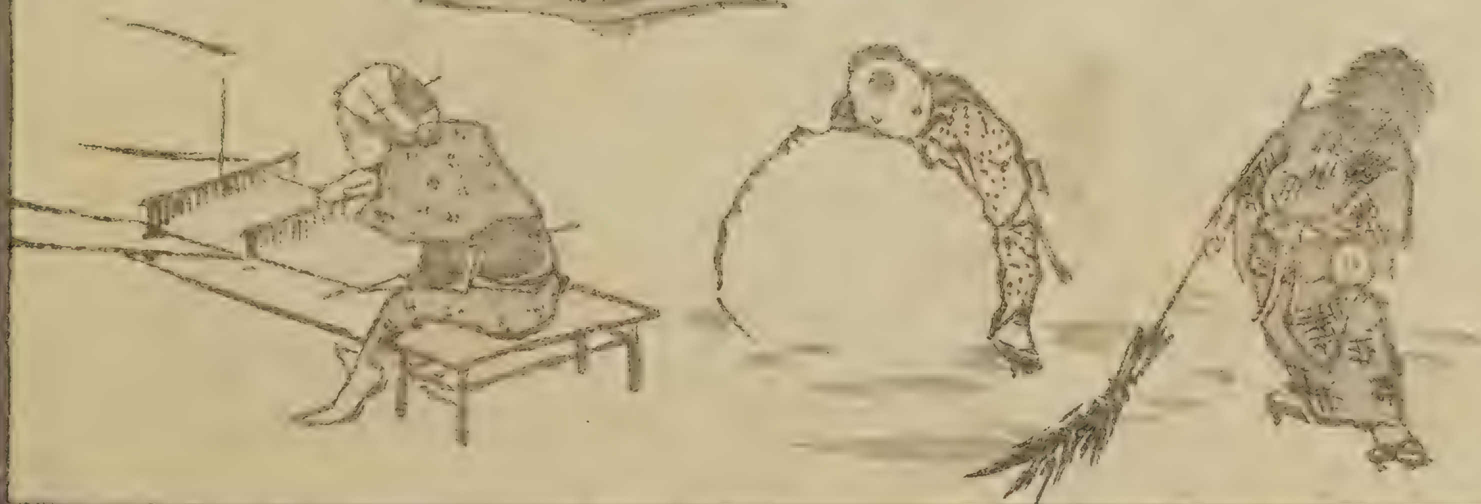
其二（その）





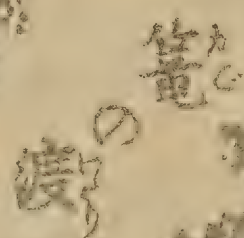










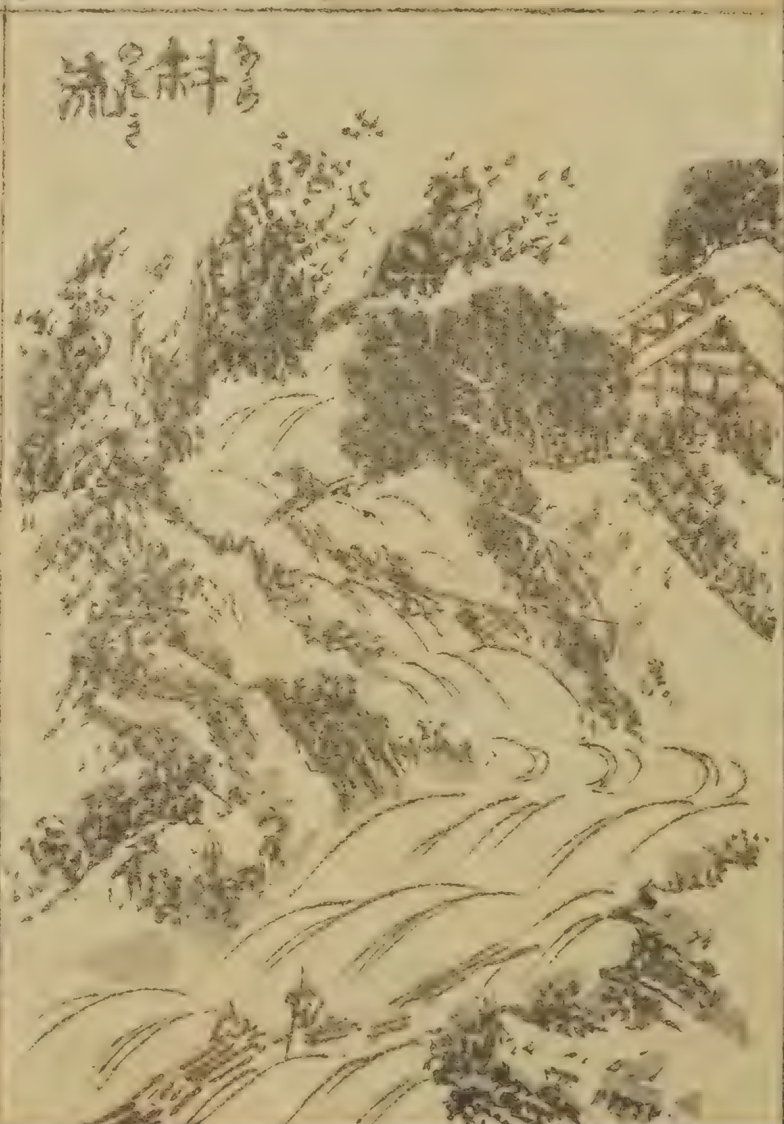

籠の渡り

飛泉八




裏面


蜘手ニ落ル


糾ノ流


清キ







銃眼

締





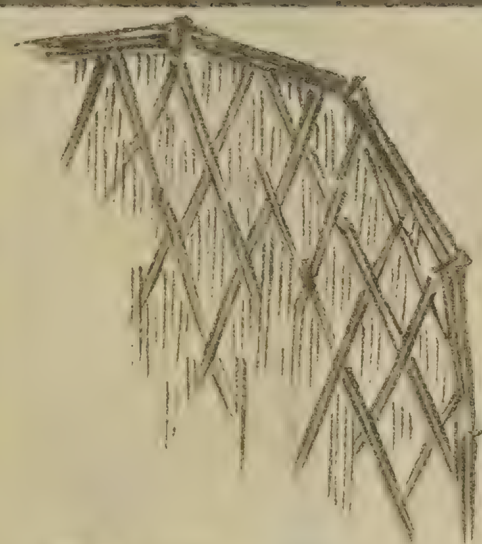



魚濫觀世音

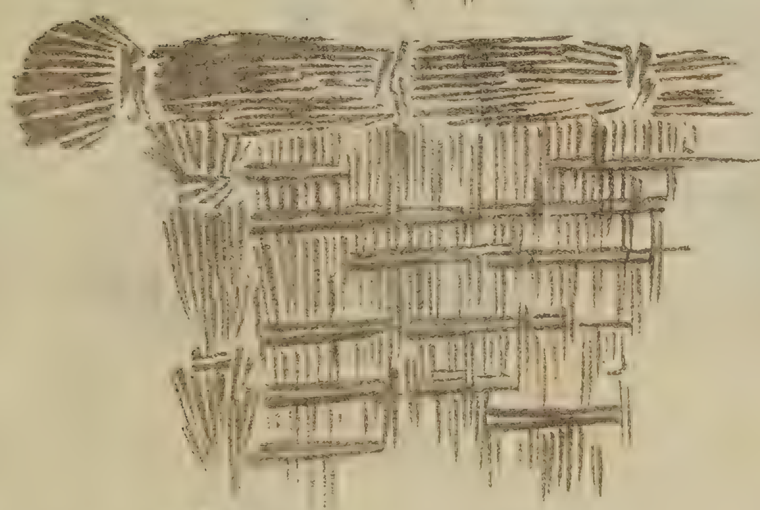


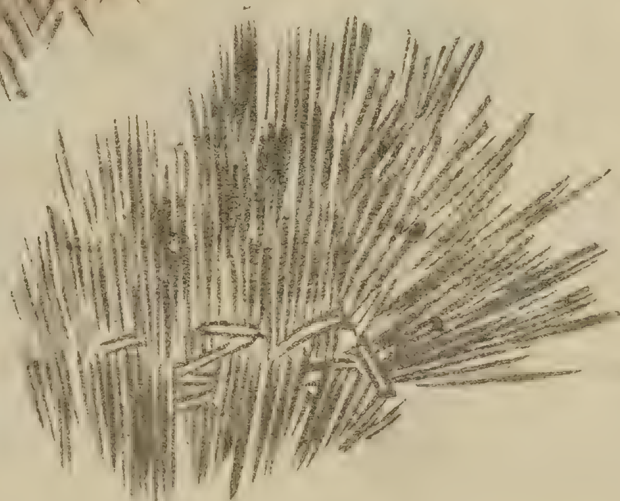




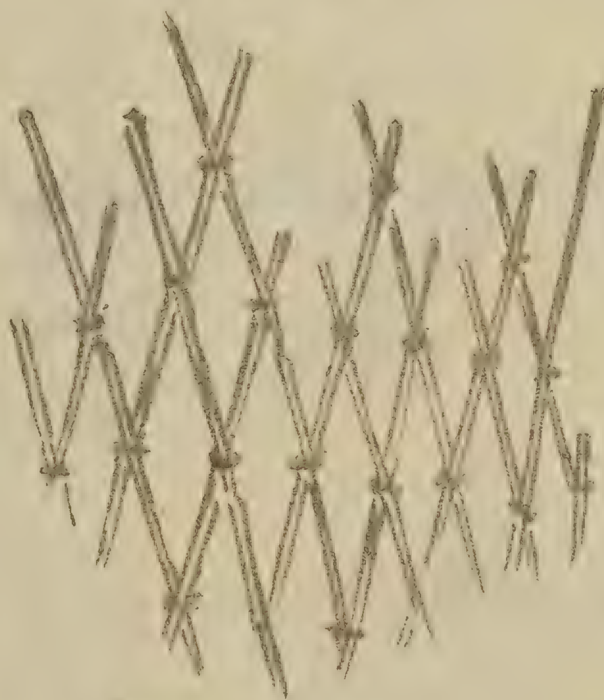


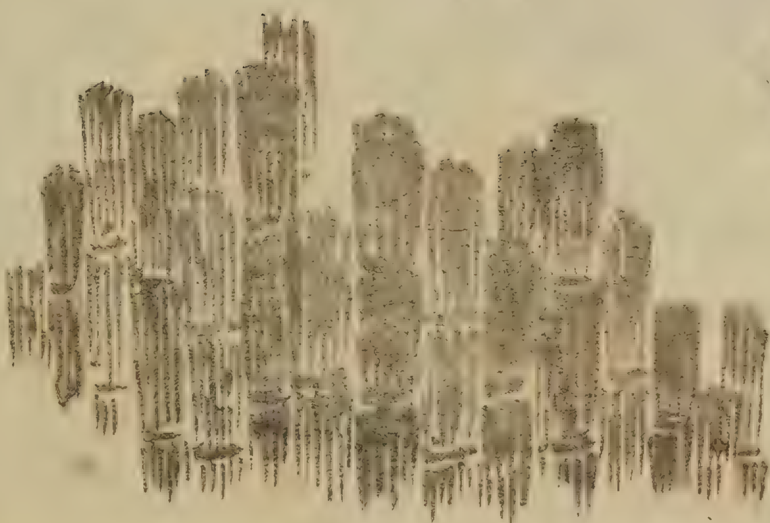






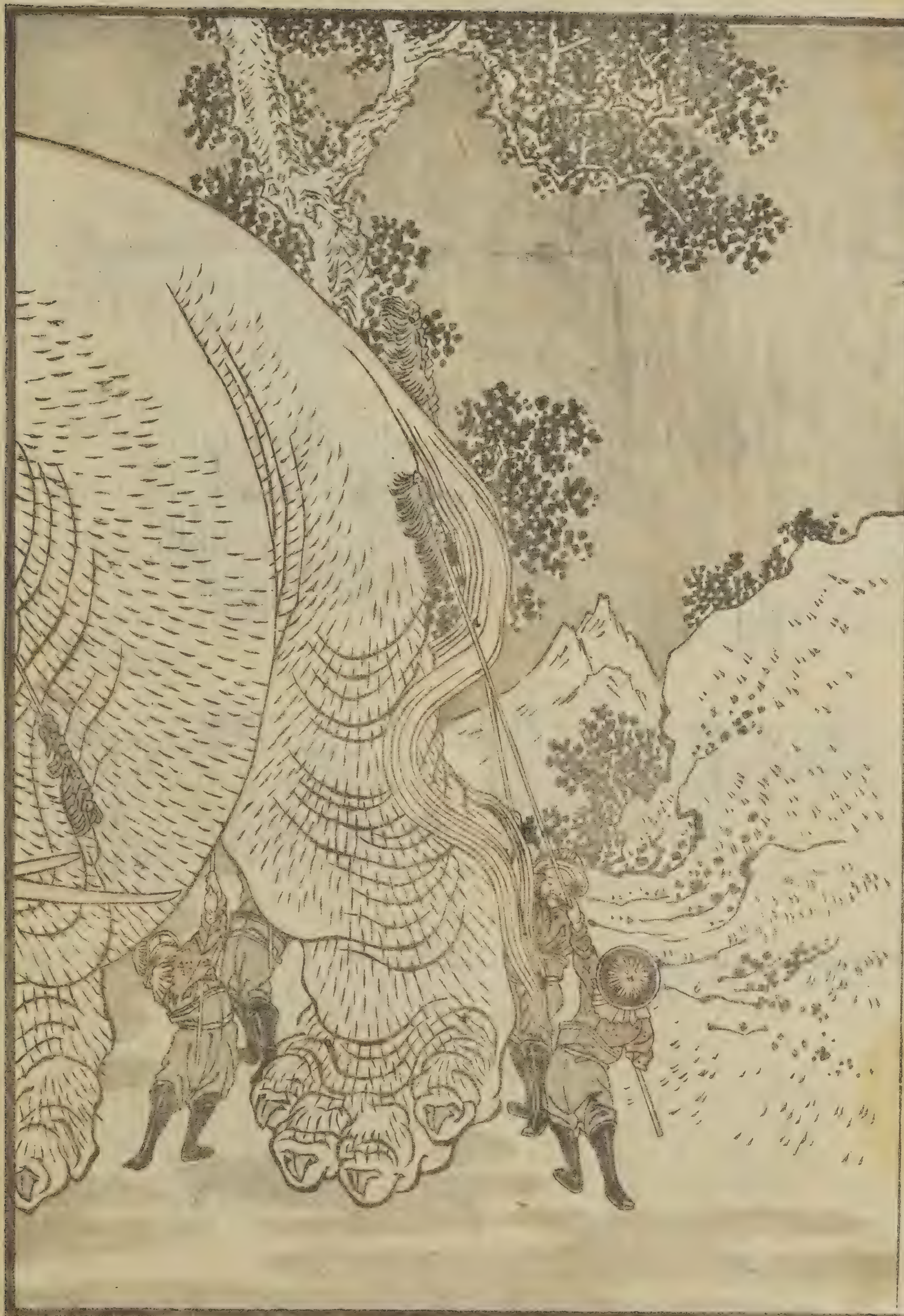













象




虎（とら）



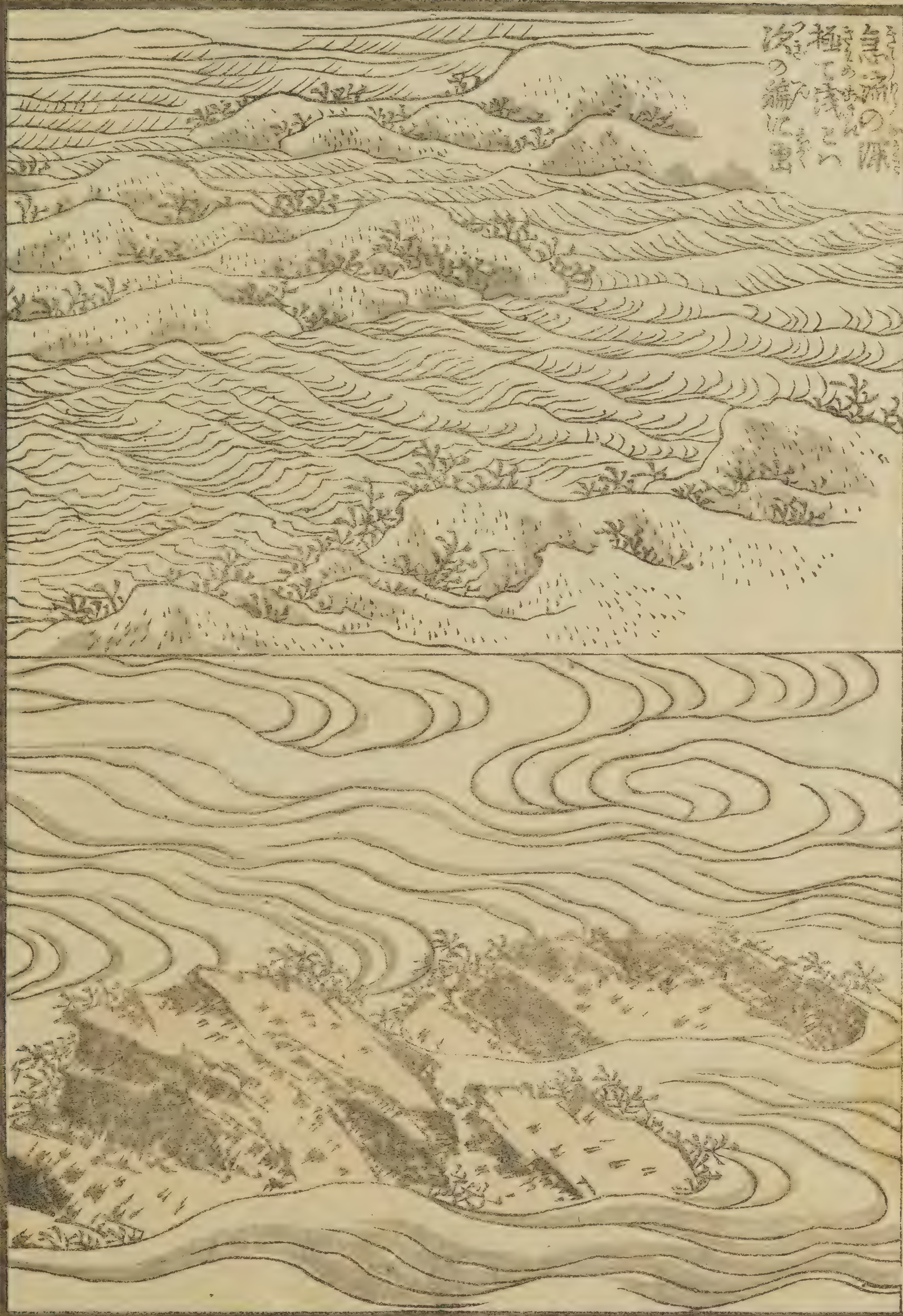
奔虎(ほんこ)




甲州
大畑山
桟木橋



駱駝（らくだ）
椰子（ヤーや）



急流の深
極て浅きとハ
次の編に出

石川

深川




甲州に干瓢を製す


岩茸取（いはたけとり）


猿 さる



御
現金


明王出現

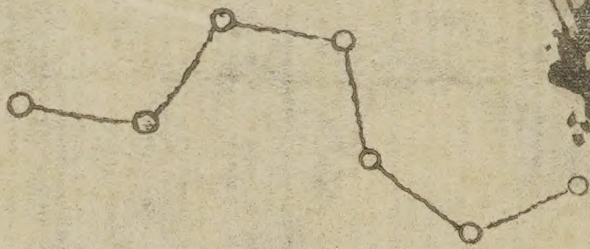


砂糖製（さとうをせいす）




須（すゆ）
晝（ひる）

弥（み）



夜（よる）



大日本國郡全圖

彩色摺 箱入 全二冊

此全圖ハ經國の大業に志ある人をして地の理を知らしめ或ハ旅歴の客廻國順拜の人々勝槩古跡を探り神社佛閣をたづぬるに必用の書なり勿論その國々ハ下郡縣村落山河にいたるまで盡く彩色をもて一覧するにやすからしむ実に古今書の魁するものなり

後撰和歌集新抄

中山美石先生著 全廿冊

此書ハ真淵契沖本居其外諸大人の高説を悉く參考し先人未發の自考をもつて古実規式をくはしく先詞の說誤てにをはのたぐひの人なりとを悉くときさとして本居大平翁石原正明先生等の說莢に考閲を加へてあらはせるものなり

書肆
尾州名古屋本町通七丁目 永樂屋東四郎
江戸日本橋通本銀町二丁目 同 出店